

北星海運株式会社 新造船 プリンセスベル就航
船名の由来は「美女と野獣」のヒロインの名前

11月13日、北星海運株式会社の新造RORO船「プリンセスベル」（9521トン）が福岡県（苅田）～神奈川県（追浜）航路に就航した。

本船はプリンス海運株式会社の定期用船として、北星海運株式会社の組合員が運航するRORO船で、船名はディズニー映画の「美女と野獣」に登場するヒロインの名前に由来する。

本船は自動車運搬を主用途として建造され、日産自動車株式会社の完成車両運搬に従事する。全長158.03m、全幅24.6m、積載能力は商品車732台、トレーラーシャーシ50本を積み込むことが可能である。その船型は当社所属船と比較して、よりシャープになっており、空気抵抗を考慮したデザインとなっている。また、車両甲板はグレーを基調としており視認性を大きく高め、また、車両甲板空調設備を取り入れるなど、船員、作業員の快適性を高めている。さらに先端技術を取り入れ、異常熱をいち早く検知し、火災やその他異常を検知できるシステム（層内監視用サーモ）も導入された。

船内の設備は、船員居住環境を大きく改善し、全室トイレ、シャワー付きの快適な船室となっている。とりわけ女性船員の船室は洗濯乾燥機やバスタブも完備されている。

また、快適な情報通信インフラ構築のため、低軌道衛星通信サービス「スターリンク」が導入され、船員の居住環境を最優先に考えられている。

北星海運株式会社のフラッグシップとなる本船は、内航海運業界の大きな期待を受け、力強く大海原に乗り出していくことだろう。

「海員だより」